

No.15

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり

NEWS ○ 2006. 3

○ 新幹線新駅の実現をめざす、環境共生の都市づくり通信 ○



目 次

- 1～2P 県民フォーラム「新幹線新駅を生かした地域づくり」
- 3P コラム「新駅に期待する」
- 4P 新幹線新駅誘致をPR /
メールマガジン「ツインシティ info」のご案内



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

〔神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会〕

県民フォーラム 「新幹線新駅を生かした地域づくり」を開催

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、新幹線新駅の誘致活動の一環として、昨年11月17日、平塚商工会議所会館で、県民フォーラム「新幹線新駅を生かした地域づくり」を開催しました。

当日は、約130名の方々のご参加をいただき、慶應義塾大学教授の金安岩男氏による講演を中心に、新幹線などの高速交通ネットワーク整備を、魅力ある地域づくりに生かす方策等について、アナウンサーの原良枝さん（元TVKテレビ）との対談も交えながら、皆さんとともに考えました。

また、地元・平塚市にお住まいの、鈴木彩さん・千帆さん姉妹による、ソプラノ独唱も楽しませていただきました。



●講師／金安 岩男 氏

慶應義塾大学環境情報学部教授兼大学院政策・メディア研究科委員。

日本IBM、東北大学理学部などを経て、現職。ケンブリッジ大学客員、ロンドン大学キングズカレッジ客員教授などを経験。専門は、地理学、地域計画、計画実践。

財団法人地域開発研究所所長のほか、神奈川県観光審議会会長など中央官庁、地方自治体、団体などの各種委員をつとめ、地域計画策定、計画実践、研修教育プログラム、自主研究など、多数のプロジェクトを企画、推進している。

講演の概要は次のページへ

県民フォーラム・講演「新幹線新駅を生かした地域づくり」

講演では、駅の諸機能や、駅の文化的側面、国内外の駅事情などについて、様々な事例を交えながら、新幹線新駅の誘致を地域づくりに生かす方策などについて、お話いただきました。

ここでは、このうち地域づくりの方策に関する部分について、概要を紹介いたします。

地域政策の工夫を

地域振興のポイントとして、こういう新幹線駅を誘致したときに、地域がどう変わっていくかということ、皆さんにぜひ考えていただきたいと思います。新駅をつくることによって、それに伴う、例えば駅前地区の総合整備ですとか、あるいは駅舎のいろんな規制を緩めたりすることもあるれば、あるいは逆に、規制を強めることによって、良好な環境をつくらうとする方法もあります。



それから、これまで動きにくかった地域の資源をどうやってうまく動かしてあげるか。例えば今、すごく腕の立つ技術者がいたとします。その人は高給をもらっているから動きたがらない。では、そういう人たちを、こちらに持ってきたい、そういう有能な人材という動きにくい資源、いいところに集まる資源をどうやって、持ってくればよいか。そういうことをするために、工夫するのが地域政策の手段なのです。これからの地域づくりには、そういう工夫がぜひとも必要です。

新駅をどう活用するか

新駅の波及効果として、例えば市街地の再開発ですとか、都市拠点の総合整備とか、あるいは、文化的な側面とか、といったものがあります。

例えば、山形駅では、橋上の駅舎や駅ビル、東西の自由通路ができ、西口が開設されたりする。そうすると、今まで例えば西と東とが、人の移動がしにくかったものが、動きやすくなったのです。

だから、倉見に新駅ができた場合に、一体どういうことが起こりそうか。いろんなことを考えられたらいいのではないかと、思います。

それで、最も大切なことは何か、と考えたときに、どのように活用するかというのが、最も大事だと思っています。とかく、「箱物行政」という批判がありますが、施設は目的があってつくっているはずなんです。そうしたら、つくった責務がありますし、それをどう使ったらいいのかが、どう活用したらいいのかが大切です。ただ、世の中が変わっていったら、変えざるを得ないかもしれません。そんなときは、つくり手も使い手もみんな、考えなければいけません。その意味では、見方、考え方、進め方が大事で、そして、そこに住んでいらっしゃる方、あるいはかかわっている方がどういう生き方をしたいのかが最も重要だろうと思っています。

開発の意味を考えてみよう

新幹線の新駅誘致にあたって、地域をどうするか、について、「開発」とは何なのか、ということをご検討していただきたいと思っています。これは実は、仏教の用語からきています。「衆生の種々の善根を開発（かいほつ）す」。これはもろもろの生きとし生けるものが持っている潜在的な可能性を見出して、それを開いてあげるといのが、「開発（かいほつ）」のもともとの意味なのです。ここに立ち返りますと、開発そのものはなかなか良い意味が、本来あります。だから、ここに立ち返って、この倉見という地区に、こういう新幹線駅を持つことが、いったいどういう可能性を開かせてくれるのかについて考えることが大事なのではないかと、思っています。



県民フォーラムの詳しい内容については、同盟会ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

☆ コラム

新駅に期待する

このコーナーでは、県央・湘南都市圏の首長や業界団体の代表者の方々に新駅等への期待をお話いただきます。



空からみた茅ヶ崎市

茅ヶ崎市は、近隣都市のなかでは最も長い約6kmの海岸を持ち、相模川の水、丘陵のみどり等豊かな自然環境に加え、四季を通じた温暖な気候に恵まれ、湘南の中核都市として発展してきました。

ちがさきさわやかプラン（茅ヶ崎市新総合計画後期基本計画）では本市の将来都市像を「自然と人がふれあう心豊かな快適都市 茅ヶ崎」とし、近隣市町との連携・協調を強化するとともに都市間ネットワークを形成し、広域的な都市間連携を進めております。

こうしたなかで、寒川町倉見地区への新幹線新駅誘致、さらにはツインシティ構想が実現することにより、本市においても広域的で利便性の高い交通ネットワークが形成されていくものと考えております。

特にJR相模線は、本市を始発駅としており、県中央部を南北に縦断する数少ない鉄道ということだけではなく、ツインシティ倉見地区と本市を結ぶ主要な交通軸となり、地域経済の活性化や相模線の複線化などの実現化にもつながることと期待しています。

今後とも近隣市町や関係機関等と連携を図り、新幹線新駅誘致活動を進めるとともに、ツインシティ構想の早期実現を願っております。

茅ヶ崎市の 木・花・鳥



茅ヶ崎市
服部 信明 市長

プロフィール

はっとり のぶあき
昭和36年生まれ
昭和62年5月から茅ヶ崎市議会議員2期
平成7年4月から神奈川県議会議員2期
平成15年4月から茅ヶ崎市長、現在に至る。
役職として、神奈川県市長会常任理事など。
座右の銘は、「初心忘るべからず」

新幹線新駅誘致をPR

～慶應義塾大学「SFC Open Research Forum 2005」～

昨年11月22日に東京・六本木アカデミーヒルズ40（六本木ヒルズ）にて開催された、「SFC Open Research Forum 2005」（慶應義塾大学SFC研究所（湘南藤沢キャンパス）主催）に、同盟会会長である神奈川県・松沢成文知事が参加し、新幹線新駅の誘致等についてPRを行いました。

当日は、『「産」「官」「学」連携の新しい潮流と地域発展のビジョン』をテーマとするセッションにパネリストとして参加。慶應義塾大学教授・國領二郎氏のコーディネートのもと、慶應義塾常任理事・村井純氏、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長・鈴木孝男氏、（株）インターネット総合研究所代表取締役所長・藤原洋氏とともに、今後の県央・湘南地域の発展に向けた連携方向などについて議論を深めました。



メールマガジン「ツインシティinfo」のご案内

東海道新幹線新駅の誘致や、ツインシティ整備の推進については、県民・企業・行政の三者の協働を基本に取組みを進めています。

その取組みの一環として、より多くの方々と情報共有や意見交換を進めるため、メールマガジン「ツインシティinfo」を配信しています。

「ツインシティinfo」では、新幹線新駅誘致やツインシティに関連する情報や、平塚市・寒川町の地元情報などをタイムリーにお届けしております。



メールマガジン「ツインシティinfo」の購読を希望される方は、

E-mailで、kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jpまでお申し込みください。（件名を、「メールマガジン希望」としてください。）
また、こちらのホームページからもお申し込みできます。<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/>

お問い合わせ先 神奈川県県土整備部 県土整備総務課 環境共生都市整備担当
電話 (045)210-6036 FAX (045)210-8879

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月設立）」では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。

平成17年度は、4月、8月、11月の3回にわたり、国会議員や国土交通省、JR東海等に対し要望活動を実施しました。



県・市町担当窓口

神奈川県	県土整備部県土整備総務課	045-210-6038(直)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)
相模原市	都市部都市交通計画課	042-754-1111(代)
厚木市	市政企画部広域政策課	046-223-1511(代)
伊勢原市	市長公室企画調整課	0463-94-4711(代)
海老名市	まちづくり部都市計画課	046-231-2111(代)
座間市	企画財政部政策課	046-255-1111(代)
綾瀬市	企画部企画課	0467-77-1111(代)
寒川町	都市部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

東海道新幹線新駅の誘致活動については、期成同盟会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

発行

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会〔事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務課〕
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話：045-210-6038 ファックス：045-210-8879
E-mail：kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています